

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

特記事項なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

時価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産はない

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金については、職員に対する賞与に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

退職給付引当金については、中小企業退職金共済の積立金をもって職員の退職金とする。

(5) 消費税等の会計処理

税込処理

3 会計方針の変更

会計方針の変更はない

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
大阪市公募公債 平成22年度第1回	5,010,015		5,010,015	0
兵庫県公募公債 第31回(20年)	208,470,000	842,000		209,312,000
第159回利付国債 (20年)	78,707,250		681,000	78,026,250
定期預金	41,582,000	3,063,400	0	44,645,400
合 計	333,769,265	3,905,400	5,691,015	331,983,650

※ 令和2年5月26日に大阪市債が満期償還となり、元金5,000,000円のうち、1,930,000円を取崩し、3,070,000円を定期預金に、満期償還益6,600円は一般正味財産受取利息及び指定正味財産利息振替額に計上

(参考) 基本財産としての満期保有目的以外の有価証券

(単位:円)

科 目	額面価格	前年度末評価額 (購入時約定額)A	評価額 (時価) B	評価損益 (B - A)
基本財産 有価証券 兵庫県公募公債第31回 (20年)	200,000,000	208,470,000	209,312,000	842,000
第159回 利付国債 (20年)	75,000,000	78,707,250	78,026,250	△ 681,000
計	275,000,000	287,177,250	287,338,250	161,000

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産 有価証券	287,338,250	283,983,121	3,355,129	0
定期預金	44,645,400	41,603,568	3,041,832	0
合計	331,983,650	325,586,689	6,396,961	0

6 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

7 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,472,980	736,500	736,480

8 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はない。

9 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券はない。

10 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当期増加額	当期減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
委託料						
岩手県臓器移植コーディネーター設置委託	岩手県	0	6,607,413	6,607,413	0	流動資産及び 一般正味財産
助成金						
都道府県支援事業費助成金、 あっせん業務関係事業助成金、 ドナー家族支援事業助成金	(公財) 臓器移植 ネットワーク	0	1,216,004	1,216,004	0	流動資産及び 一般正味財産
合 計		0	7,823,417	7,823,417	0	

11 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金はない。

12 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味残高から一般正味残高への振替額	
公益目的事業会計（評価額修正）	298,547
公益目的事業会計（利息収入）	1,576,767
法人会計（利息収入）	242,520
合計	2,117,834

13 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

14 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

15 その他

なし